

【取組内容①】 Excelシートを活用して、自他の考えを比較し、自分の考えをまとめる。

第4学年社会科「残したいもの・伝えたいもの」の学習で、異なる題材を調べる児童3、4人を1つのグループとして学習を進めた。グループで1つのExcelシートを使い、課題について、共同編集で一人一人が分かったことを自分のセルに入力した。完成したExcelシートを見ながら、3つの題材についての共通点や気づきを話し合い、それを新たなシートに反映されるように設定することで、全てのグループの話し合いの内容を一人一人が自分のパソコンで見られるようにした。



班ごとの完成させた
Excelシート

3つの題材について一人一人が調べたことについてシートを見ながら班で話し合う。

くらべること	(1) 岩宮八幡神社	(2) 太々大神	(3) ひがしね節
いつ、だれが、どうして始めたのか	1058年～1065年に三浦一族が戦争で負けてしまった後、東根市にきてこの地域の守りを守るために行った	東根市立東根小児童の皆さんと一緒に行われていることが分かった。	昔ははらのみぞねこうに集まったことが始まりとされているが昭和7年7月に結成された。
今まで続いている理由	三浦一族を守るために作り、今まで続いている。昭和27年、12月9日に山形県文化財指定に指定された	みんなが大事にしようとしているから	子どもたちを楽しませるためにつづっている。
だれがどのように受け継いできたか	この東根町をほいでいた小幡の司が作ってきてくれて守ってきたけれど大幡な所だから、三浦一族が受け継いできた。	岩山八幡神社の記録では、1625年ごろに何らかの神楽が奉納されている。また、神楽は大幡7年(1836)に仙台の本下白山神社太々大神の神匠高野貞徳の住居を受けた記録が残っている。	これまで受け継がれてきた歴史や伝説をまもりながら、新しい風を取り入れ、老若男女が盛り上がるひがしねまつりをしていた。
今と昔のちがいは	今の、鹿角寺宮や光善寺宮、中宮は昔、おほりになっている	太々神楽は昔は今よりもメロディーが多かったけど、今はそれよりも少ないことが分かった。	昔は、バケツなどをたたいたして音楽をしていた。カステネットやタンバリンしかなかった。
共通すること	1つ1つ偉い人が「神社」や「神楽」、「祭り」を作った。		

4年2組	
共通すること	
1班	・東根市市民が昔から受け継いでいる。・昔と今ちがうことをして、盛り上げられるようにちがうことをしている。
2班	・みんなが大事にしようとして続けている。・すべて県の指定を受けている。
3班	・一つ一つ偉い人が「神社」や「神楽」、「祭り」を作った。
4班	・三つとも大切にしようという思いがある。・三つとも、たのしくしようとしている。
5班	受け継いでいる人がたくさんいる 国や、市などの地域が関係している
6班	1つ1つ偉い人が「神社」や「神楽」、「祭り」を作った。
7班	頑張って受け継いできたことと祭りがあることとどん要素が増えていっていること。今まで続いている理由が
8班	幸福になってほしいなどのねがいがつづいている。全部頑張って受け継いできた。昔より今のほうが楽しめる要素
9班	・今まで続いている理由で大事にしようとしているものがある。・いつ、どうして、始めたか、みんなきっかけが、

班ごとの話し合いの結果も
Excelシートで共有。

3つの題材についてそれぞれが調べたことの共通点を、Excelシートを見ながら一生懸命探していた。発表による全体交流の時間を短縮することができ、自分の考えをじっくりまとめる時間を十分に確保することができた。そして、自分のグループのシートや全グループの気づきが見られるシートを見ながら、学習のまとめを自分の言葉で書くことができた。